

ときには遊び心で



トキリマメ（マメ科）
六甲山系布引谷にて 2012年11月

「見て見て～目立ってる？楽しそうですね。」まるで通り行く里人に、野鳥に、山の生き物たちに訴えるように、秋風に揺られながらおどけた姿を見せているトキリマメ。決してたまたまこんな格好になったのではなく、みな同じ格好でおどけてからみあいながら遊んでいるようだ。いや、やはりこれもいかに自分たちの種を次世代に継承させるか、長い時間をかけて得た自慢の方法なのだろう。赤の衣に黒く際立った場所に実をつけることで野鳥の目を引き、誘い、種を運んでもらうための真剣なパフォーマンスらしい。

春先に新芽を出し、つるを伸ばして花を咲かせ、大真面目に生きてきた最後に、ちょっとおどけて気を引かせながらも、種の継承の使命を真っ当に終わらせる小細工は、憎いまでもよくできている。

さあ、今年も秋の里山を訪れ、彼等の真剣な遊び心に触れ、時には今までの自分には無かった遊び心を見つけ出し、赤や黒の風船をその心にくくりつけ、「歳のせい」という言葉と一緒に秋の空に飛ばしてみよう。きっとひょうきんでステキな自分が見つかると思えるから。